

会 議 名	令和5年度 第1回八王子市食育推進会議	
日 時	令和5年10月26日(木) 14時30分～16時00分	
場 所	八王子市保健所 4階401会議室	
出席者氏名	委 員	大村 香織、今富 敦子、峯尾 誠、小林 陽一郎、米津 元一、岡部 貴代、佐藤 高雄、小池 さとみ、内藤 里美、浦野 慎一、松丸 渉、能渡 規子、榎本 愛子、池田 博、角 宏美
	事 務 局	鷹簀保健所長、白石保健総務課長、中村課長補佐、星野主任、茂木
欠 席 者 氏 名	加藤 直樹	
議 題	(1)「第3期八王子市食育推進計画」の中間評価について (2)給食センターを活用した食育について (3)八王子市栄養士連絡会災害検討部会の取組について	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	次第 資料1 八王子市食育推進会議委員名簿 資料2 八王子市食育推進会議開催要綱 資料3-1 第3期八王子市食育推進計画取組一覧 資料3-2 第3期八王子市食育推進計画中間評価 資料3-3 第3期八王子市食育推進計画取組評価(抜粋) 資料3-4 第3期八王子市食育推進計画の中間評価について 資料4-1 はちっこ通信 資料4-2 はちっこキッチン檜原 施設紹介 資料5 八王子市栄養士連絡会災害検討部会の取組について	

【会議の内容】

《開会》

発言者	内容
保健総務課長	定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回八王子市食育推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。本推進会議は設置要綱にもございますように、八王子市における食育に関する取り組みを総合的な見地から協議、意見交換を行う場としております。また、本食育推進会議は原則、公開となっていることから、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了解ください。

	<p>なお、議事録については、議事録案を作成し皆様に内容の確認を行った後、本市のホームページで公開してまいります。議事録における委員につきましては、皆様の個人名は記載せず、委員という形で表記をさせていただくことでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員了承】 八王子市食育推進会議開催要綱、第5条により、会議の進行を鷹簀保健所長にお願いします。</p>
保健所長	<p>議事に入ります。議事1「第3期八王子市食育推進計画」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、「第3期八王子市食育推進計画」の中間評価について、説明させていただきます。</p> <p>本計画は、八王子市の基本構想の下位計画である、分野横断的な取組を実施するための計画として位置付けられている保健医療計画に紐づく計画として設定されております。計画期間を令和3年度から7年度までの5年計画としており、令和7年度の次期計画の策定に向け令和6年度に市民意識調査を予定しております。</p> <p>本計画の策定に際しましては、国や東京都の動向、八王子食育推進会議と八王子市食育推進計画庁内連絡会の2つの検討会での意見や、食育に関する市民意識調査、2期計画の成果を踏まえ策定しております。なお、意識調査では幼稚園3園・保育園6園・小学校6校・中学校3校・高校2校の協力を得て子どもの意識調査を実施している点が本計画の特徴となっております。</p> <p>食育の推進を図っていくため、検討会の御意見、市民意識調査の結果などから、3つの方向性を定め、施策の柱に反映させることとしました。</p> <p>「すべてのライフステージに応じた食育の更なる土壌づくり」「食を育てる 守る」「オール八王子で食育をつなげる むすぶ」の3つの柱を定めております。</p> <p>また、「すべてのライフステージに応じた食育の更なる土壌づくり」では7施策20の取組、「食を育てる 守る」では4施策9の取組、「オール八王子で食育をつなげる むすぶ」では2施策6の取組を設定し、各所管にて将来像に向けた事業の展開を図ることとしております。</p> <p>各所管における令和4年度までの取組を踏まえた現状についてですが、本日は進捗に遅れのある3つの項目についてご説明させていただきます。遅れが生じている3つの具体的な活動はいずれも「ライフステージに応じた食育の「更なる土壌づくり」」に紐づくものになります。</p> <p>1つ目は、少年期に係る施策として、子どもを中心とした食育の推進の取組における児童館との食育連携事業の推進です。こちらに関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響から料理教室の実施を見送るなど十分な活動が行えなかったことや、他者との関りが希薄となったことから、子どもたちのつながりづくりに重点を置いた事業の展開にシフトしたことから、活動に遅れが生じているとのこと。なお、八王子市のクックパッドに掲載しているレシピなどの食育に関する情報を利用者の目の届くところに設置するなど興味を持ってもらえるような対応は行っているとの報告を受けております。</p> <p>2つ目は中年期に係る施策として、生活習慣病等の疾病予防の推進の取組における特定健康診査、特定保健指導の実施です。オンラインによる特定保健指導を実施する等の対応を行うなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じた結果、計画策定時の数値より向上しているものの、コロナの影響による受診控えもあったことから、想定していた値に達していないとい</p>

	<p>うことから「B」評価として報告を受けております。</p> <p>3 つ目も中年期に係る施策になりますが、望ましい食生活を実践できるための支援の取組における各種栄養教室の実施です。コロナ禍において感染症対策を講じ実施したものの、実食がなく実習のみのカリキュラムにせざるを得なかったことから、対象年代となる方々の参加がなかったため、活動に遅れが生じている状態であるが、今年度のからは、試食を含めたカリキュラムに変更し実施する旨の報告を受けております。</p> <p>食品の安全・安心の確保に係る施策として食の安心の確保の取組において、令和4年度に新たな試みを実施いたしましたのでご報告いたします。</p> <p>行政栄養士が組織横断的に連携して、栄養施策の展開や、災害時の活動などを円滑に進めていくことが必要となることから、栄養士連絡会を設置し、災害時の対応について検討を重ね、「八王子市栄養・食生活支援活動マニュアル」を作成しました。</p>
保健所長	事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見などございますか。
委員	特定健診、特定保健指導の実施率の低下については、私も普段クリニックで外来の栄養指導を行っているのですが、栄養指導の件数が下がってしまっていて、オンラインでの実施もしているのですが、特に高齢者の場合は対面でお話したいというのが多くあります。Web 面会などには慣れてきている様子ですが、栄養指導や特定保健指導となると、まだまだだなと感じます。
委員	市民意識調査の回収状況について、40.6%とありますが、こちらの数値は一般的に見て高いのか？また、こども意識調査について、幼稚園の回収率と保育園の回収率に差がありますが、何か理由があるのか？
保健所長	一般的に考えると高い数値であると思います。事務局から補足はありますか。
事務局	子ども意識調査の回収率の差については、保育園に通園しているお子様の保護者は、基本的に共働きであり、お仕事や家事をしながらの回答となるため、回収率が下がったのではないかと考えます。
保健所長	ありがとうございます。回収率をさらに上げるため、Web 回答と併用する等、取り組んでいるところです。市民の皆様の声を聞くには、何千人という規模での調査を実施して、次の計画に進めることが行政の役割かと思えます。デジタル世代ではない方々に対しても同じように取り組みを進めることは悩ましい現状があります。高齢者を対象にご活躍されている委員の方はいかがですか。
委員	私は平日の日中に食堂の活動をしています。利用者は8割方高齢者です。保育園などでは健康診断等を通じて、保護者に説明したりといったことがあると思いますが、中高年は栄養相談等受ける機会はあるのかなと思いました。高齢者はほとんどそのような機会がないので。
保健所長	ありがとうございます。幅広い年代を対象に食育推進計画を策定しているなかで、子どもたちと日々関わっている委員の方はいかがですか。
委員	コロナの関係で、食育活動ができなかったのは事実です。やっと5類になりまして、現在は食育活動をたくさんしています。今までは、料理教室等はできなかったのではと思うので、中間評価にその影響があったのだと思います。

委員	就学前の子どもにおいても、コロナ禍の影響で黙食などを強いられ、昨年の半ばあたりから段々と元に戻ってきたと思っています。これから色々な調査ができるのだと思います。
委員	小学校においても、コロナ禍では家庭科の調理実習ができなかったり、黙食などをしていました。児童館において食育連携事業が実施できなかったというのは、仕方がないのかなと感じます。今後、戻っていけば中間評価も良くなるのではと思います。
保健所長	ありがとうございます。コロナの影響がやはり大きくあったように感じます。他にご意見はございますか。
委員	私は昨年から食育推進会議に出席しています。昨年の評価と比較すると、今年度は非評価の数が少なくなっていると思っています。昨年はコロナの影響があったかと思いますが、今年は比較的食育活動が増え、改善が見られていると思います。児童館との食育事業の連携というのは、誰が主体となり行うのですか。
事務局	学校給食課と児童館の職員が連携し、企画や情報共有をしています。料理教室の実施にあたっては、児童館の職員が実施しています。
保健所長	それぞれの立場から様々なご意見をありがとうございました。 ご質問・ご意見はございますか。【質問・意見なし】 続いて、議事2に進みます。 中学校給食を対象とした給食センターの開設が令和6年にいよいよ全て完成します。 給食センターを活用した食育について、給食センター榎原の職員より説明をお願いします。
給食センター 榎原 栄養士	八王子市立中学校における食育と、給食センターの役割・活用状況について説明します。 まず、八王子市立中学校の給食の実施状況についてですが、親子方式の6校、自校方式の2校に加え、令和2年から南大沢、元八王子センターの11校、令和3年度から元横山センターの5校の給食を開始しました。令和5年度9月から榎原給食センターが開設し、11校への提供をしています。最終候補地である寺田は令和6年開設予定ですが、寺田からの提供校であるみなみ野中、七国中、高尾山学園の3校については、榎原の提供開始に合わせて「食缶とデリバリーランチ方式」の手法による給食提供となり、令和5年度9月からは全中学校で全員給食が始まりました。 学校給食が生きた教材になるよう、年間推進計画に沿って献立作成や食育を実施しています。日々の献立にはテーマを持たせ、その内容にそったに食育メモを給食と一緒に届けています。当日の献立の他、市の健康づくりである野菜350や、地産地消の推進として農家の方からのメッセージなどがあります。 食育メモは教室で掲示するほか、クラスや放送で読むなどして活用しています。食育だよりには、その月の地産地消や日本遺産献立など行事献立の紹介や、生徒やその家庭にぜひ知っていただきたい和食や健康などについての情報を月毎にテーマを決め、シリーズ掲載しています。シリーズ掲載している和食・健康についてと、八王子産の旬の野菜はより詳しく紹介できるよう掲示物も作成しています。 給食時間中には、食育訪問を行っています。毎月、1つの学年を対象にテーマを設け実施しています。今年度から各中学校から食に関する指導の年間指導計画を提出していただき、学校ごとの計画に基づき内容を決めています。そのため、学校によって内容が異なる月もあります。

	<p>令和4年度から、給食センターでも職場体験の生徒の受け入れを始めました。3つの給食センターで27名の生徒がきました。体験の内容は、調理作業、洗浄作業、事務仕事、献立作成、食育などです。子どもたちが教室にいくと、先生方はとても温かく迎え入れてくださいます。</p> <p>給食センターの役割として、給食提供等のほかに、不登校生徒の居場所づくりや、災害時の食支援や、センターの食育スペースを活用した地域向けの料理教室など行っています。</p> <p>不登校により、給食を食われていない生徒に対して、学校給食センターの温かい給食を食べる機会を提供するとともに、安心できる居場所のひとつとして給食センターを活用し、社会とのつながりを持ってもらうという目的で令和4年度3学期から不登校支援が始まりました。事前の予約や連絡が不要で、市内学校給食センターにて給食を提供しています。</p> <p>学校給食センターの給食の喫食を学校の教育活動の一環として校長が認める場合には、出席扱いとすることができることになっています。</p> <p>災害時の支援は、災害発生後4日目以降、近隣避難所への応急給食を行います。</p> <p>また、先日東京都栄養士会と災害協定を結んだことにより、災害時に特殊栄養食品ステーションとして、給食センターを活用することになりました。地域向けの活動として、「はちおうじの給食」の魅力や、学校給食センターの役割について、理解していただくと共に、地域への食育の啓発・推進を目的に、地域の方向けのイベントも開催しています。</p> <p>試食会では中学生と同じ給食を食べていただき、給食での地場産利用や野菜 350、素材を活かした味つけなどについても説明しています。</p> <p>料理教室は、災害時に役立つクッキングや、八王子産野菜を使った料理教室などを行いました。また、子供の保育教育推進課の親子料理クッキングで食育スペースの活用をしていただきました。市の健康に関する事業で活用いただけるよう、庁内に案内を出しています。</p> <p>これは、はちっこキッチンフェスタです。センターの給食提供期間以外では、夏季休業中の児童の健康維持増進や、保護者の負担軽減を図ることを目的とした、子育て支援政策として、学童保育所において学校給食センターの調理機能を活用した昼食を提供しました。今年度は給食センター元横山からは5つの保育所に配送し、各保育所5日間実施、計1600食程度提供しました。</p>
<p>保健所長</p>	<p>中学校給食の充実については、市民のみなさまが待ち望んでいたことと思います。ご質問、ご意見などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>現在、大学に勤めており、スポーツをしているアスリートの子たちが利用する食堂の運営管理や、試合に合わせた栄養管理などを行っています。食事は毎日食べるものなので、大学生にとって、とても大事だと思っています。私たち大学の教員が連携して選手にむけてできる食育がありそうだなど、ヒントをたくさんいただけたなと思いました。</p>
<p>保健所長</p>	<p>ありがとうございます。バランスの良い食事というのは、口腔の健康を保つためにも必要なことだと思います。歯科の視点からはいかがですか。</p>

委員	私は小中学校の学校歯科部を担当しています。年に1回、学校保健会というものがあります。そこで気になっているのが、朝食を食べていない子どもがけっこういます。小学校でもちらほらと見られます。何を食べてきたのか聞くと、鮭のおにぎりや味噌汁と、それならばまだ良いのですが、シュークリームを食べたという子もいます。そこが気になります。
保健所長	ありがとうございます。学校給食の話の中で、地産地消の話がありましたが、農業の視点からいかがですか。
委員	私は野菜ではなく牛乳の方なのですが、農業委員会に出てくる方は野菜農家が主なので、話を聞くと、学校給食へ提供している方も何名かいるというのは聞いたことがあります。規模が大きくなると、地元の野菜だけで足りるのかなと少し心配にはなりますが、できたら地元の野菜を活用し、地産地消してもらえたら嬉しいなと思います。
保健所長	ありがとうございます。今回、市民としてご応募いただいたお2人はお子様を育てている立場ということで、ぜひともご意見ございましたらお願いします。
委員	私は元八王子給食センターが自宅から近く、昨年イベントに参加させていただき、調理の様子を見させていただいたり、実際に子どもと食堂を利用させていただき、美味しくいろいろと食べさせていただいた経緯があります。 八王子の給食については、八王子市が小田原市と姉妹都市ということで、金目鯛が給食に出て子どもたちも驚いていたり、最近ですと、ラグビーの日本代表選手と一緒に給食を食べたり、滝山城御膳という給食で氏照ごはんというものができたり、そのようなことがとても楽しく、子どもたちも喜んでいる姿があります。今後も楽しい給食を期待しています。
保健所長	ありがとうございます。他にご意見はございますか。
委員	ためになるお話をありがとうございます。夏休みの学童昼食ですが、私の周りのお母さん方は本当に助かっていて、お金を払ってでも行かせたいという母親がいたくらいです。今後も力をいれていただきたいなと思っています。また、はちっこ通信に載っている様な情報は、親が自分で本を借りてきて調べるよりも、これを見れば有力な情報を得られるというのが、とてもありがたいです。学校給食の献立表のおかげで、日頃、家庭での献立をたてるのにとっても参考になっています。本当に感謝しかありません。
保健所長	ありがとうございます。来年の2月に給食センターがすべて完成し、すべての市立中学校でセンター給食が開始する日が待ち遠しいですね。 ご質問・ご意見はございますか。【質問・意見なし】 それでは、議事3に進みます。事務局お願いします。

<p>事務局</p>	<p>議事3の八王子市栄養士連絡会災害検討部会の取組についてお話しします。</p> <p>始めに、八王子市栄養士連絡会とは、八王子市の行政栄養士が将来を見据えた栄養士業務及び人材育成等を組織横断的に行うことを目的として、昨年度設置されました。主な活動は、災害時における栄養士活動の体制整備、栄養士の人材育成及び資質向上、調査研究及び情報共有、円滑な栄養士業務の遂行などです。栄養士連絡会の中に災害対策検討部会が設置されています。</p> <p>令和4年(2022年)9月、東京都栄養士会と八王子市は災害時における栄養・食生活支援活動の協力に関する協定を締結しました。東京都栄養士会と八王子市が協定に至った背景としましては、①災害に対する備えの強化が必要となっているため。②給食センターができたことで災害時の食支援が可能となったため。③令和4年4月に改訂された国の「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」に、避難所における管理栄養士等への相談が明記されたためです。</p> <p>協定内容は、大きく2つあります。 ①特殊栄養食品の調達を可能とすること。②全国の栄養士から早期に応援を受けられることです。</p> <p>この協定に伴い、八王子市行政栄養士は「給食センターを特殊栄養食品ステーションとして活用し、食支援を行うことが可能となりました。また、現在、八王子市行政栄養士は、非常配備態勢とし一般職員と同じように位置づけられていますが、初動期には受援体制の調整、応急期には特殊栄養食品の受け入れや配布調整、復旧・復興期には自助による栄養の確保に向け、生活再建の支援など専門性を活かした活動を始めることが可能となります。</p> <p>災害時に、被災住民支援を関係する機関職種と連携しながら、迅速かつ効果的に展開することで市民の食生活や栄養状態の悪化を防ぎ、より早く平常時までには回復することを目的とした、「八王子市栄養・食生活支援活動マニュアル」を栄養士連絡会災害検討部会にて作成しました。</p> <p>災害時でも避難をしてきた人たちが、できるだけ普段と同じような食事ができるように支援するためには、平常時には災害備蓄の推進や災害時どのように行動するかなど市民への普及啓発を行う必要があります。そして、部署を超えた連携や JDA-DAT、市民グループとの連携をスムーズに行うといった栄養・食生活支援活動の体制整備を今後も行っていきます。</p>
<p>保健所長</p>	<p>事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見などございますか。</p>

委員	<p>今のお話で、被災時に日常と同じような食事ができるように努めるというのは分かるが、実際の災害時に、被災した市民が押し寄せるような状況があったとすると、今示されたようなマニュアル通りの行動ができるかという疑問に思います。数年前に、保健所の職員の方々が災害時に現地へ赴き、状況を見てきて、実際に必要な物とは何なのか報告してもらったことがあり、実際に被災地では何もできないのが普通だということでした。災害時に給食センターが無事であるかどうか分からない。4日間程度は何とか自宅でも過ごせるというのが、政府の指針かと思いますが、4日目以降に支援が必要だとなった時に、自宅付近にどのような施設があり、どのような支援が受けられるのか。それをいかに市民へ啓発していくかだと思います。例えば、非常に遠方に住まれている方は、施設へ行けるかどうか分からない。地域によって、どのような施設があるかということを知りていくことが必要かだと思います。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。情報共有は非常に重要であると思います。集団給食会のお立場からご意見ございますか。</p>
委員	<p>集団給食会として出席しておりますが、実際は事業所となります。今回、本会議に出席できてとても勉強になりました。学校給食の給食センターはこれほどの活動をされていることに感心いたしました。同じ安心、安全な食を提供する立場として、日々作っていただけても大変なのに、とても労力をかけ、尽力されているのだなと思いました。</p> <p>災害検討部会については、私達は事業所としてBCPという事業継続するための計画があり、災害の想定をして、平時に準備をしています。東京都のガイドラインにそって、3日分程度の準備をしていますが、実際の災害時には、4日目から避難所は機能していないのではと思います。自助共助ということで、従業員の方には3日分程度の備蓄はするようお願いしています。給食センターを活用し、災害時に備え対策されていることはとても良いことだなと思います。災害時を想像することは難しいですが、前進している感じがするので非常に良いと思いました。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。健康づくりサポーターとして、ご意見ございますか。</p>
委員	<p>給食センターが、子どもたちにとって、温かい給食を食べる機会、安心できる場所として活用できることを聞き、子どもたちにとって、家庭が安心できる場所ではないこともあるかと思うので、そういったところを少しでもカバーできたらと思いました。子どもたちにとって、安心、安全な場所がどんどん広がっていくと良いなと思いました。</p> <p>それから、災害時の食支援ということで、八王子市と東京都栄養士会が協定を締結したことは、とても心強いなと思いました。私は、東日本大震災の時に、石巻に現地入りして、ボランティアを行いました。いろいろな避難所を回った時にお聞きした言葉が「市から毎日パンばかりが配給される。もううんざりして食べたくない。残すと配給数が減ってしまうので、代わりに食べてくれないか。」と。他にも、食中毒の問題があって生野菜が食べれないと。野菜ジュースを持っていきますねと伝えたりはしていたのですが、みなさんが仰っていたように実際にどこまでできるのかとは思いますが、実践できることを取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、その時にはいろいろな場所からたくさんのボランティアが来て情報交換をしていました。ここの地域にはこれが足りないといったことや、あのチームにはあれが足りていないのでこちらからお願いしますなど。できるだけ多くの場所に配給が行き渡るように取り組んできたのですが、行政として、しっかり情報交換できる仕組みを整えて欲しいと思います。また、災害が起きると、サーバーがダウンして情報が入ってこない状況があったと思います。そのような部分の対応をしっかりしていただければ安心できるかなと思います。</p>

保健所長	ご意見ありがとうございました。本日、予定した3つの議事は終了しましたが、全体を通して、質問やご意見等ございますか。
委員	給食センターについてですが、アレルギー対応はどのようにしているのでしょうか。
給食センター 榎原 栄養士	給食センターのアレルギー対応としては、特定原材料8品目の除去食のみとなります。除去食を希望される方は、生活管理指導表を提出いただき、面談を行い決定します。特定原材料8品目のうち、ナッツ類や木の実提供いたしません。実際には、小麦、乳製品、卵、エビについては、献立からすべて除去した除去食をお弁当箱に詰めて、学校へ配送し担任の先生からお子さんに渡していただく流れになります。個別に対応をしないのは、配送車に間違えて入れてしまったときに、学校内であれば簡単に取り替えることができますが、それができないからです。アレルギーについては、個人によって状況が様々です。保護者へは献立表と詳細献立表をお渡しして、本人と保護者とでチェックをしてもらっています。
保健所長	ご質問・ご意見はございますか。【質問・意見なし】
事務局	食育推進会議要綱をご覧いただいたかと思いますが、任期は2年となっております。来年度は市民意識調査がありますので、皆様のお知恵をお貸しいただき、事業を進めていけたらと思っております。ご協力の程よろしく願いいたします。以上で、令和5年度第1回食育推進会議を終了いたします。